

## 使用上の注意改訂のお知らせ

2023年5月 (No.2023-1)

長時間作用型ARB／持続性Ca拮抗薬配合剤

●劇薬、処方箋医薬品

**イルアミクス® 配合錠 LD「三和」**

**イルアミクス® 配合錠 HD「三和」**

**ILUAMIX®**

(日本薬局方 イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩錠)

販売元  
株式会社 三和化学研究所  
SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631  
製造販売元  
DMITOダイト株式会社  
富山県富山市八日町326番地

この度、標記製品の「使用上の注意」を一部改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。つきましては改訂箇所を一覧に致しましたので、今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

今後とも弊社製品のご使用にあたって副作用・感染症等をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容(下線部: 令和5年5月9日付厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知)  
(下線部、取消線部: 自主改訂)

改訂後	改訂前
<p><b>6.妊婦、産婦、授乳婦等への投与</b></p> <p>(1)妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないこと。また、投与中に妊娠が判明した場合には、直ちに投与を中止すること。[妊娠中期及び末期にアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤又はアンジオテンシン変換酵素阻害剤を投与された患者で羊水過少症、胎児・新生児の死亡、新生児の低血圧、腎不全、高カリウム血症、頭蓋の形成不全及び羊水過少症によると推測される四肢の拘縮、頭蓋顔面の奇形、肺の低形成等があらわれたとの報告がある。アムロジピンは動物実験で妊娠末期に投与すると妊娠期間及び分娩時間が延長することが認められている<sup>1)</sup>。]</p> <p>(2)妊娠する可能性のある女性に投与する場合には、<u>本剤の投与に先立ち、代替薬の有無等も考慮して本剤投与の必要性を慎重に検討し、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。</u>また、投与が必要な場合には次の注意事項に留意すること。</p> <p>1)<u>本剤投与開始前に妊娠していないことを確認すること。本剤投与中も、妊娠していないことを定期的に確認すること。投与中に妊娠が判明した場合には、直ちに投与を中止すること。</u></p> <p>2)<u>次の事項について、本剤投与開始時に患者に説明すること。また、投与中も必要に応じ説明すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・<u>妊娠中に本剤を使用した場合、胎児・新生児に影響を及ぼすリスクがあること。</u></li><li>・<u>妊娠が判明した又は疑われる場合は、速やかに担当医に相談すること。</u></li><li>・<u>妊娠を計画する場合は、担当医に相談すること。</u></li></ul> <p>[<u>妊娠していることが把握されずアンジオテンシン変換酵素阻害剤又はアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤を使用し、胎児・新生児への影響(腎不全、頭蓋・肺・腎の形成不全、死亡等)が認められた例が報告されている<sup>2,3)</sup>。</u>]</p>	<p><b>6.妊婦、産婦、授乳婦等への投与</b></p> <p>(1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。また、投与中に妊娠が判明した場合には、直ちに投与を中止すること。[妊娠中期及び末期に他のアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤やアンジオテンシン変換酵素阻害剤を投与された高血圧症の患者で羊水過少症、胎児・新生児の死亡、新生児の低血圧、腎不全、高カリウム血症、頭蓋の形成不全及び羊水過少症によると推測される四肢の拘縮、頭蓋顔面の奇形、肺の発育不全等があらわれたとの報告がある。アムロジピンは動物実験で妊娠末期に投与すると妊娠期間及び分娩時間が延長することが認められている。]</p>

改 訂 後	改 訂 前
<p>(3)授乳中の女性への投与を避け、やむを得ず投与する場合には授乳を中止させること。[イルベサルタンでは動物実験(ラット)において乳汁中への移行が認められている。また、動物実験(ラット)出生前及び出生後の発生並びに母体の機能に関する試験)の50mg/kg/日以上で哺育期間において出生児の体重増加抑制が認められている。アムロジピンではヒト母乳中へ移行することが報告されている<sup>4)</sup>。]</p>	<p>(2)授乳中の婦人への投与を避け、やむを得ず投与する場合には授乳を中止させること。[イルベサルタンでは動物実験(ラット)において乳汁中への移行が認められている。また、動物実験(ラット)出生前及び出生後の発生並びに母体の機能に関する試験)の50mg/kg/日以上で哺育期間において出生児の体重増加抑制が認められている。アムロジピンではヒト母乳中へ移行することが報告されている<sup>4)</sup>。]</p>
<p style="text-align: center;">■主 要 文 献■</p> <p>1) 堀本政夫 他:応用薬理 42(2):167,1991 2) 阿部真也 他:周産期医学 47:1353,2017 3) 齊藤大祐 他:鹿児島産科婦人科学会雑誌 29:49,2021 4) Naito T. et al.:J. Hum. Lact., 31(2):301, 2015 5)~12) (省略、番号繰り下げ)</p>	<p style="text-align: center;">■主 要 文 献■</p> <p>1) Naito T. et al.:J. Hum. Lact., 31(2):301, 2015 2)~9) (省略)</p>

## 2. 改訂理由

[妊婦、産婦、授乳婦等への投与]

- 令和5年5月9日付厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知に基づき、妊娠可能な女性に対する注意喚起を追記しました。

妊娠中にレニン-アンジオテンシン系阻害作用を有する医薬品を継続し、胎児等への影響が疑われる症例が報告されており、その中には妊娠が把握されずこれらの医薬品が使用された例も認められていることから本通知が発出されました。

(参考)レニン-アンジオテンシン系阻害作用を有する医薬品(ACE阻害薬、ARB等)の胎児等への影響と注意事項について

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/calling-attention/properly-use-alert/0002.html>

- その他、記載整備しました。

医薬品添付文書改訂情報は医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)並びに弊社ホームページ(<https://med.skk-net.com/>)に最新添付文書が掲載されます。あわせてご利用ください。

また、専用アプリ「添文ナビ」より GS1 バーコードを読み取ることも、最新の電子化された添付文書や関連情報をご参照いただけます。

イルアミクス配合錠 LD・HD「三和」



(01)14987086502112

〔お問い合わせ先〕

株式会社三和化学研究所 コンタクトセンター

電話0120-19-8130

受付時間:月~金曜日 9:00~17:00

(祝日及び弊社休業日を除く)

ホームページ <https://www.skk-net.com>